

KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES MALAYSIA 3DEXPERIENCE WORKSソリューションを使用して、事務 機器の生産用工具の開発を加速 お客様事例

Konica Minoltaは、3DEXPERIENCE Worksポートフォリオのデータ管理ソリューションを実装して以来、手戻りと関連コストを排除し、設計サイクルを25%短縮しました。しかもその間ずっと、クラウド上でデータを管理することで、サーバーとITの多額のコストを回避しています。

課題:

データ管理を改善して、リビジョン エラーや手戻りのコストを排除すると同時に、ハイテクの多機能コピー機や事務機器の製造のための生産用工具(ジグ、取り付け具など)の開発サイクルを短縮する。

解決策:

3DEXPERIENCE SOLIDWORKS、3D

Creator、Collaborative Designer for

SOLIDWORKS、Collaborative Business

Innovator、Collaborative Industry Innovatorを含む、クラウドベースの**3DEXPERIENCE**プラットフォーム上で稼働する**3DEXPERIENCE Works**ポートフォリオのモデリング、設計、コラボレーション、コミュニケーション、およびデータ管理のソリューションを既存の**SOLIDWORKS**実装環境に追加する。

結果:

- 開発サイクルを25%短縮
- 手戻りと関連コストを排除
- データ管理を改善し、自動化
- コミュニケーション チャンネルとして、**Microsoft Teams**の**3DEXPERIENCE**プラットフォームへの置き換えを実施

2014年に設立されたKonica Minolta Business Technologies (Malaysia) Sdn. Bhd. (BMMY)は、東南アジアのKonica Minoltaの地域本社であるKonica Minolta Business Solutions Asia Pte. Ltd.の100%子会社です。BMMYは、最高レベルの最高の生産技術と、製造に関する深いノウハウを活用して、高レベルの効率性と生産性を実現しながら、部品の製造と、Konica Minoltaの革新的な事務機器ソリューション(ハイテクの多機能コピー機、プリンタ、その他の事務機器など)の組み立てを行っています。

Konica Minoltaは、時間の短縮と生産性の向上をサポートすることを目指して、ビジネスのデジタル トランスフォーメーションの実現に取り組んでいます。Konica Minolta Business Solutionsは、情報管理から技術対応ツールまでの一連のサービスとハードウェアを提供しています。それにより、企業はワークフローの自動化を利用して、情報への迅速なアクセス、モビリティのサポート、ビジネス プロセスの最適化を実現しています。同社は、デジタル製造ソリューションと最先端技術も提供しており、オフィス印刷、印刷生産、および産業印刷を対象とした有機印刷事業を拡大し続けています。

Konica Minolta Business Technologies Malaysiaのシニア グループ リーダーであるMohammad Azwan氏によると、同社の生産および工具部門は**SOLIDWORKS**®の3次元設計ソフトウェアを長年にわたり使用して、Konica Minoltaのハイテクの多機能コピー機、プリンタ、事務機器の構成部品の製造および組み立てに必要な工具、ジグ、取り付け具、機械を開発してきました。生産チームは、リビジョン管理やデータ管理の問題を解決



「このプラットフォームでは誰もが簡単に効率よくコラボレーションを行い、いつでもどこからでも開発環境にアクセスすることができるため、設計時間を短縮できるようになりました。正しいデータがはるかに簡単に見つかるようになりましたし、設計レビューやワークフロー全体がより迅速になりました。つまり、**3DEXPERIENCE**プラットフォームを使うと、コラボレーションがより効率的、効果的になり、その結果時間を節約できます」

—シニアグループリーダー、Mohammad Azwan氏

するシステムを検討していたときに、**3DEXPERIENCE**® Worksポートフォリオのコスト効率の高い自動データ管理ソリューションについて耳にしました。メインストリームのイノベーション専用のポートフォリオは、クラウドベースの**3DEXPERIENCE**プラットフォームを活用して、1つの統合されたコラボレーション環境で企業のエコシステムを結び付けます。

「**3DEXPERIENCE**プラットフォームに接続する前は、**SOLIDWORKS**デスクトップを使用して、共有ドライブのCADデータを手動で制御していました」とAzwan氏は振り返ります。「データの重複、名前の重複、リビジョン管理の不備、ファイルの欠落、参照ファイルの欠落など、データ管理に多くの問題を抱えていました。そこで、データ管理システムを探すことにしました。**3DEXPERIENCE Works**ポートフォリオのデータ管理ソリューションを選択したのは、コストが手頃で、多くのビジネスおよび業界のロールを提供することも理由でしたが、最も重要だったのは、当社のデータ管理の問題を解決するという点でした」

Konica Minoltaは、**3DEXPERIENCE Works**ポートフォリオのデータ管理機能を実装することに加えて、**3DEXPERIENCE SOLIDWORKS、3D Creator、Collaborative Designer for SOLIDWORKS、Collaborative Business Innovator、Collaborative Industry Innovator**などのモデリング、設計、コミュニケーション、コラボレーションの各ツールも既存の**SOLIDWORKS**実装環境に追加しました。「**3DEXPERIENCE**プラットフォームを使用することで、データ管理が100%改善され、これまでの課題が解決されました」とAzwan氏は言います。

手戻りと関連コストを排除

Konica Minoltaは、透明性の高い自動データ管理機能をクラウドで使用することで、過去のデータ管理のエラーに対処するために必要な手戻りはもちろん、関連するコストや時間の遅れも完全になくすることができました。「クラウド上の**3DEXPERIENCE**プラットフォームでデータ管理を開始する前は、データのセキュリティが確保されておらず、管理が不適切でした」とAzwan氏は説明します。

さらに同氏は続けます。「名前が不適切だった、別のフォルダに保存されたなどの理由で、設計者が誤ったリビジョン データを使用することがありました。その結果、不要な手戻りの時間とコストが発生していました。**3DEXPERIENCE**プラットフォームを使用することで、リビジョン エラーに関連する手戻りと関連するコストや時間の遅れも完全に排除できました」

設計サイクルを短縮

Konica Minoltaは、**3DEXPERIENCE** Worksポートフォリオのモデリング、設計、コミュニケーション、コラボレーション、およびデータ管理のソリューションを実装した2021年以降、生産用に10個のジグと3台の機械の開発を行ってきた一方で、ジグ、取り付け具、工具、および機械の設計の開発サイクルを25%短縮しました。「**3DEXPERIENCE**プラットフォームですべての機能を使用することで、開発時間を25%短縮できました。設計サイクルについては、ジグや工具で8週間から6週間に短縮、機械設計で4か月から3か月に短縮できました」とAzwan氏は言います。

「このプラットフォームでは誰もが簡単に効率よくコラボレーションを行い、いつでもどこからでも開発環境にアクセスすることができるため、設計時間を短縮できるようになりました。正しいデータがはるかに簡単に見つかるようになりましたし、設計レビューやワークフロー全体がより迅速になりました。つまり、**3DEXPERIENCE**プラットフォームを使うと、コラボレーションがより効率的、効果的になり、その結果時間を節約できます」

ワークフローとコミュニケーションを改善

Konica Minoltaは、**3DEXPERIENCE**プラットフォームでデータ管理機能を使用することで、開発ワークフローを最適化し、その時間を短縮しました。同時に、設計およびエンジニアリング環境をクラウド上に構築することで、開発チーム全体のコミュニケーションも改善しました。「主要なコミュニケーション チャンネルとして、Microsoft® Teamsから**3DEXPERIENCE**プラットフォームへの移行も実施しました」とAzwan氏は指摘します。

「当社は開発ワークフローを標準化し、このプラットフォームを使用してレビューと承認プロセスを自動化しています」とAzwan氏は強調。「ハード コピーのレビューや承認を行うことがなくなり、より効果的にコミュニケーションを取れるようになりました。また、ワークフローとコミュニケーションの改善により、生産性が向上しました」

ダッソー・システムズの**3D**エクスペリエンス・プラットフォームでは、**11**の業界を対象に各ブランド製品を強力に統合し、各業界で必要とされるさまざまなインダストリー・ソリューション・エクスペリエンスを提供しています。

ダッソー・システムズは、**3D**エクスペリエンス企業として、人々の進歩を促す役割を担います。当社は持続可能なイノベーションの実現に向けて、企業や人々が利用する**3D**のバーチャル コラボレーション環境を提供しています。当社のお客様は、**3D**エクスペリエンス・プラットフォームとアプリケーションを使って現実世界の「バーチャルエクスペリエンス ツイン」を生み出し、さらなるイノベーション、学び、生産活動を追求しています。

ダッソー・システムズの約2万人の従業員は、140カ国以上、あらゆる規模、業種の27万社以上のお客様に価値を提供します。より詳細な情報は、www.3ds.com（英語）、www.3ds.com/ja（日本語）をご参照ください。

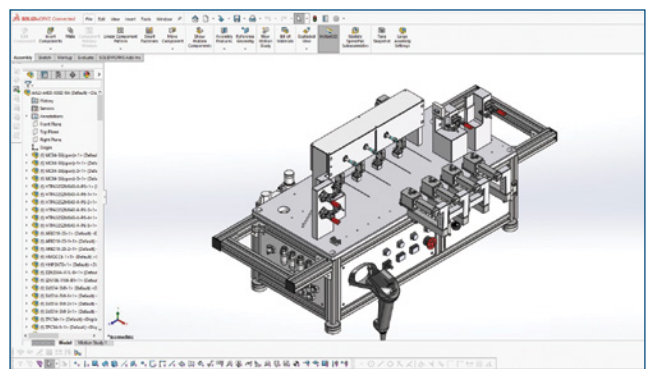
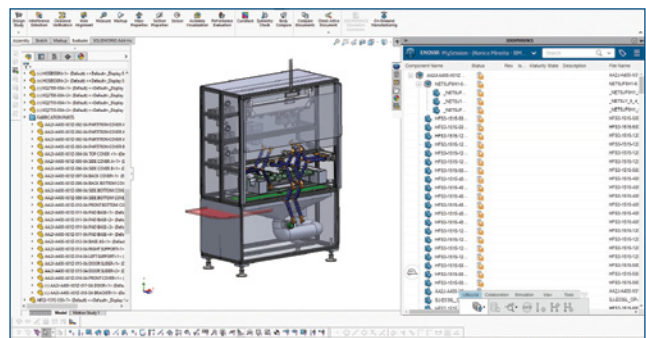
Konica Minolta Business Technologies (Malaysia) Sdn.Bhd.について

担当代理店: CADVision Systems (マレーシア、クアラ Lumpur)

本社: No. 8 Jalan TU 62 Kawasan Ayer Keroh, Malacca 75450 Malaysia
電話: +60 62332930

詳細情報

www.konicaminolta.com.my/home/



Konica Minoltaは、クラウドベースの**3DEXPERIENCE**プラットフォームでデータ管理機能を使用することで、開発ワークフローを最適化し、その時間を短縮するとともに、開発チーム全体のコミュニケーションを改善しました。

